

環境委員会資料

令和3年5月20日

所管事務の調査（視察）

(1)かわさき下水道広報施設ワクワクアクアについて

上下水道局

かわさき下水道広報施設ワクワクアクアについて

① 施設概要

- ・所在地：川崎市川崎区塩浜3-17-1（入江崎水処理センター内）
- ・開館時間：8時45分から16時15分
- ・休館日：水・土・日曜日、祝祭日、年末年始
- ・受付方法：事前予約制
- ・供用開始：平成31年4月1日
- ・見学内容：ガイダンス映像の上映及び概要説明 約10分
沈砂池管理棟見学 約50分

② 目的とコンセプト

(1) 目的

- ・市内の子供たちや市民の方の環境学習の場を提供すること
- ・国内外に川崎市の下水道技術を紹介すること

(2) コンセプト

「見えない下水道を探り、水環境を考える」

③ 展示の基本方針

「下水道の役割と大切さを理解してもらう展示」

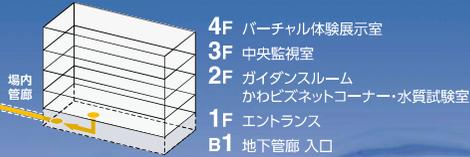
- (1) 水循環の流れの中での下水道の役割と大切さを伝える
- (2) 大雨から都市を守る下水道の役割を伝える
- (3) 地球環境に配慮した下水道の取組を伝える
- (4) 世界の水循環改善への貢献に向けた取組を伝える

④ 見学者推移（令和3年5月20日時点）

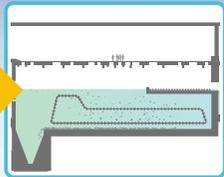
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学校関係	581	1	0
一般	350	15	0
官公庁等	375	79	6
企業等	51	9	0
海外	144	0	0
合計	1,501	104	6

※令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響あり

受けて日々の生活を営んでいます。
 の水処理技術により、
 自然に還しています。
 ましょう。



沈砂池管理棟



私たちが、生活の中で使い汚れて
 しまう水を、きれいにするための
 施設です。
 下水は微生物の働きによってきれ
 いにし、東京湾に放流しています。
 実際の水処理工程を間近で見
 てみましょう。

見学のご案内

ご予約・お問い合わせ:

044-287-5214

川崎市上下水道局 入江崎水処理センター 受付時間:8時30分から16時30分まで

住 所:〒210-0826 川崎区塩浜 3-17-1

F A X: 044-287-5311

開館時間: 8時45分から16時15分

休 館 日: 水・土・日曜 祝祭日

年末年始 (12月29日から1月3日まで)

見学方法: 事前予約制

※個人のお客様、団体のお客様、共に事前にお申し込みください。

交通アクセス



JR川崎駅・京急川崎駅下車にて川崎市バスをご利用ください

■JR川崎駅東口14番のりば

【川10】系統: 塩浜行「入江崎水処理センター前」下車 徒歩1分

■JR川崎駅東口6番のりば

【川40】系統: かわさき南部斎苑経由 塩浜営業所行
 「入江崎水処理センター前」下車 徒歩1分



かわさき下水道広報施設

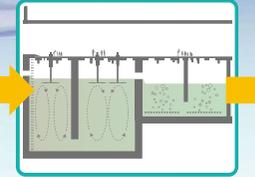
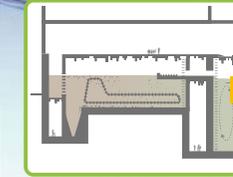
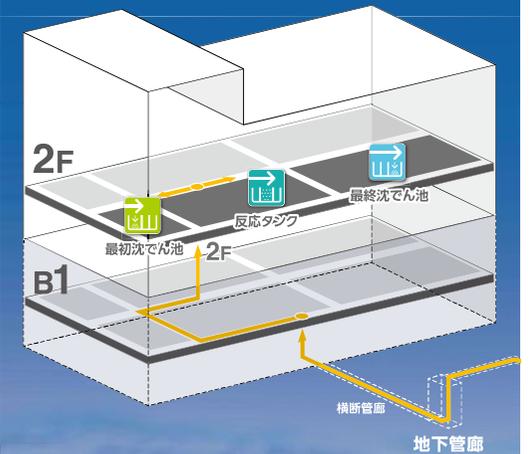
ワクワクアア
 WAKUWAKU AQUA

入江崎水処理センター



私たちは自然界を循環する水の恩恵を
 ここ入江崎水処理センターは、最先端
 私たちが使った水をきれいに処理して
 普段は見えない下水道の世界を探検し

水処理施設



見学スポットのご案内

沈砂池管理棟

4F バーチャル体験展示室

3F 中央監視室

2F ガイドンスルーム
水質試験室
かわびズネットコーナー

1F エントランス

B1 地下管廊へ



下水道キャラクター「カッピー」

水処理施設

2F 最初沈でん池
反応タンク
最終沈でん池

1F

B1

B2

見学にかかる時間はおよそ120分です。

水の旅 (水循環)

森林へ降り注ぐ雨は、河川を流れ、海にたどり着き、蒸発して雲となり、再び雨として自然界を循環しています。私たちは、この循環する水の一部を自然の恵みとして利用し、その恩恵を受けながら生活しています。



川崎市の上下水道

上下水道は、私たちの暮らしを支える大切な施設です。市内全域に広がる川崎市の上下水道を空から眺めてみましょう。



下水処理のしくみ

入江崎水処理センターでは、東京湾の水質改善に向けて、窒素やリンを除去できる最先端の水処理を行っています。その工程としくみを見てみましょう。



4F バーチャル体験展示室 フロア案内

見えない下水道のヒミツを探る！
下水道バーチャルツアー



川崎市水の情報広場

川崎市にある関連施設ポスターの掲示やリーフレットを展示、配布しています。

災害と下水道

下水道は水をきれいにする他にも、水害から街を守る役割も担っています。大雨の時に一時的に雨水を貯める「貯留管」と、様々な大きさの下水道管を比べてみましょう。



環境対策と下水道

川崎市では、水処理の過程で発生する温室効果ガスの削減や、省エネ機器の導入などによる環境対策に取り組んでいます。



川崎市下水道のあゆみ

昭和6年に川崎駅を中心とする地域の浸水対策として始まった下水道。その後、昭和36年に県下で初の水処理施設である入江崎水処理センターを本格稼働させました。ここでは現在までの川崎市下水道のあゆみを紹介します。



世界の水環境改善に向けて

日本では「安全水・トイレ」をいつでも使えますが、世界にはまだこれらを使えない人たちが多くいるため、川崎市上下水道局は世界の水環境を良くする取組をしています。その活動状況や世界の水事情を写真やグラフで見てください。

